

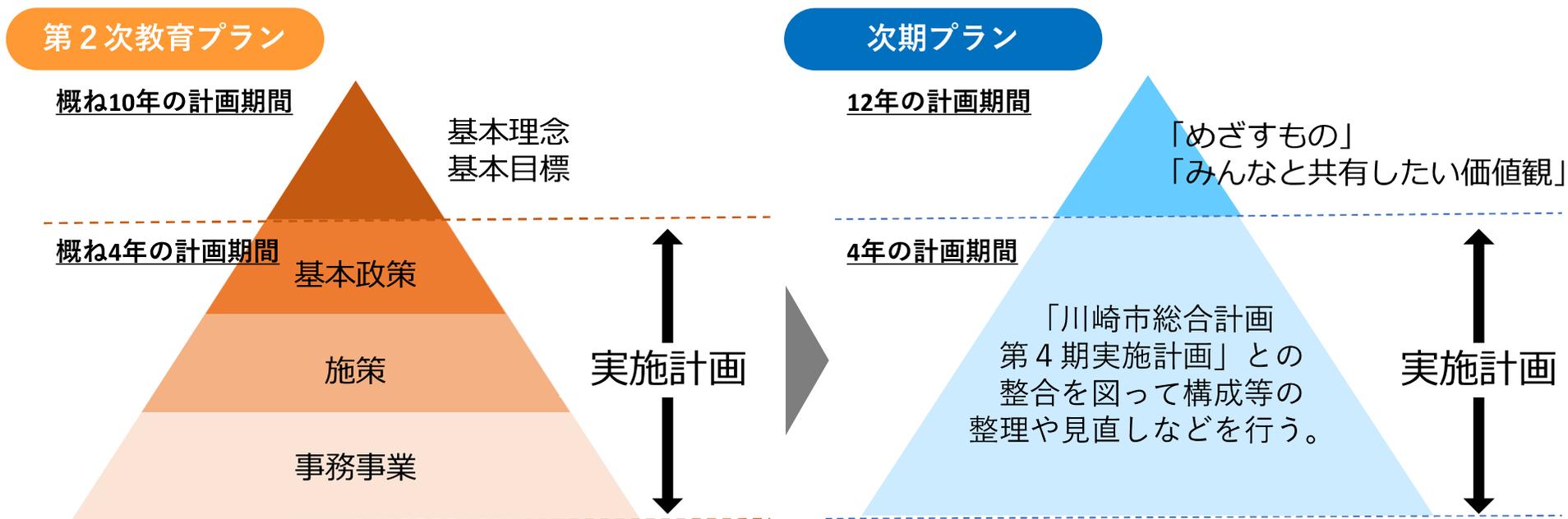
# 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

## 3 実施計画について

本市の教育の「めざすもの」と「みんなと共有したい価値観」を踏まえ、第2章で整理した取組成果と今後の課題や、市民ニーズ等を参考にしながら検討し、市民の皆様にとって分かりやすく、社会状況の変化に機動的かつ柔軟に対応した計画としていきます。

実施計画では、「めざすもの」の実現に向けた取組を体系的・網羅的に整理していきます。取組については、総合計画と同じ事務事業を基本単位として体系化を図ります。

第2次教育プランの実施計画は、8つの基本政策、19の施策、45の事務事業の3階層で構成していますが、次期プランでは、現行の構成をベースとしながら、「川崎市総合計画第4期実施計画」との整合を図って構成等の整理や見直しを行うとともに、記載項目の共通化などについても検討していきます。



# 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

## 4 “Key Project”について

### 基本的な考え方

- 少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、気候変動に伴う自然災害の激甚化など、これから私たちは、今まで以上に激しい変化の時代を生きることになります。
- そのような時代において、次期プランで掲げる「めざすもの」を実現していくためには、**今後の本市の教育において特に重要となるテーマを明確にし、その推進にあたっては、横断的に取り組んでいくことが必要であると考えます。**
- 次期プランでは、具体的な取組を「実施計画」として体系的・網羅的に整理していきますが、**「めざすもの」の実現に向けて市民の皆様の理解を得ながら、重点的に取り組む重要なテーマを“Key Project”として新たに位置づける**こととします。
- 不確実性が高まり、さまざまな教育課題が山積しているこれからの時代において、子どもたち一人ひとり、市民一人ひとりが、自分らしく学びを進めることができるよう、“Key Project”を推進します。

### Key Projectの候補

- Project 1 社会参画に向けた資質・能力を育成する探究的な学びの充実
- Project 2 学校、関係機関などの組織等の枠を越えた連携による切れ目のない支援
- Project 3 教職員が働きやすい環境づくり
- Project 4 生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

# 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

## 4 “Key Project”について

### Project 1

## 社会参画に向けた資質・能力を育成する 探究的な学びの充実

- **変化が激しく将来の予測が困難な時代を自らの力で生き抜いていくためには、「自分(たち)で考え、解決していく学び」が重要**であり、「めざすもの」の実現に向けては、自ら地域・社会に関わり、課題を見つけ、他者と共に考え、解決していく「探究的な学び」を充実させる必要があります。
- 本市では、既に総合的な学習の時間を中心に各学校において「探究的な学び」の実践が行われていますが、これまで取り組んできた、地域と共にある学校づくりの取組や「キャリア在り方生き方教育」における地域への愛着を深める教育活動を発展させながら、**地域・社会への参画を通して、資質・能力を育成する探究的な学びを、すべての市立学校で実践**できるよう検討していきます。



### 《検討の視点》

#### POINT 1

#### 小中9年間を通じた探究的な学び

小中9年間の中で発達段階に応じて身につける資質・能力を共有しながら、地域の小・中学校が連携し、教育活動に取り組む環境を整えていきます。

#### POINT 2

#### 川崎の特色を活かした取組

「キャリア在り方生き方教育」など、これまでの本市の取組を土台として、学校と地域との関係を大切にしながら、各学校や地域の特色を生かした探究的な学びに取り組んでいきます。

#### POINT 3

#### 地域と連携した教育活動

探究的な学びを進めていくためには、地域の理解や協力が重要となるため、地域との関係をより深める取組を行っていきます。

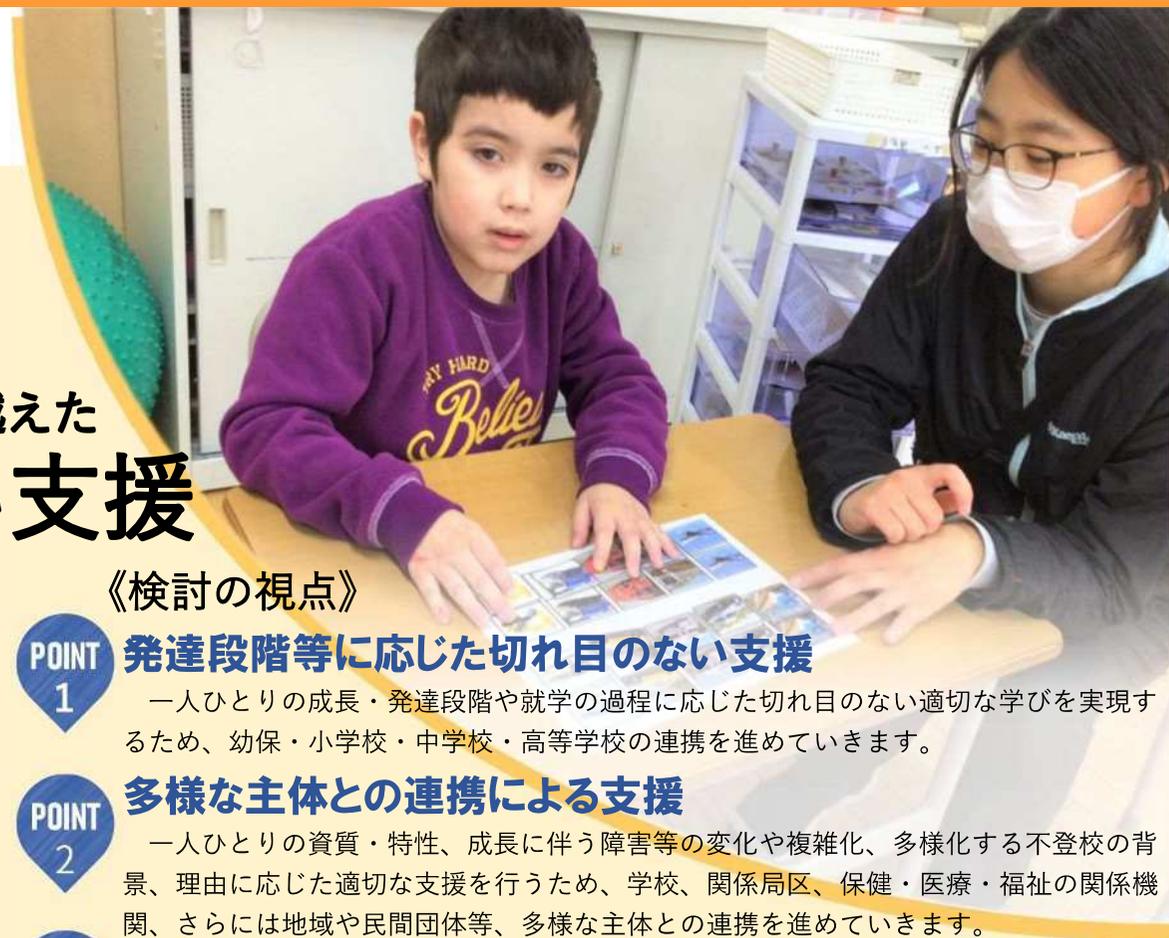
# 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

## 4 “Key Project”について

### Project 2

## 学校、関係機関などの組織等の枠を越えた 連携による切れ目のない支援

- ダイバーシティやインクルージョンの進展といった市民の価値観の多様化が進んでいる中、本市では、今後、児童生徒数の減少が見込まれる一方で、**特別支援学校や特別支援学級の在籍者、不登校児童生徒などは増加しており、一人ひとりに合った支援を行うためには、学校だけで対応することは困難な状況**となっています。
- そのため、本市では、**異校種間の縦の連携や、保健・医療・福祉の関係機関等との横の連携をより一層強化し、組織等の枠を越えて連携した支援体制を整備し、児童生徒のライフステージを見通した切れ目のない支援の充実**に向けて検討していきます。



### 《検討の視点》

POINT  
1

#### 発達段階等に応じた切れ目のない支援

一人ひとりの成長・発達段階や就学の過程に応じた切れ目のない適切な学びを実現するため、幼保・小学校・中学校・高等学校の連携を進めていきます。

POINT  
2

#### 多様な主体との連携による支援

一人ひとりの資質・特性、成長に伴う障害等の変化や複雑化、多様化する不登校の背景、理由に応じた適切な支援を行うため、学校、関係局区、保健・医療・福祉の関係機関、さらには地域や民間団体等、多様な主体との連携を進めていきます。

POINT  
3

#### 多様な学びの場の提供

一人ひとりが自己を理解し、自分らしく社会的に自立していくためには、それぞれの力を伸ばすことのできる環境が整った学びの場があるとともに、自分で選択できることが必要であるため、多様な学びの場の充実に向けた取組を行っていきます。

POINT  
4

#### 児童生徒の安全・安心な居場所づくり

「放課後等の子どもの居場所に関する今後の方向性」（令和7（2025）年3月こども未来局策定）に基づき、関係局等と連携しながら、児童生徒が健やかに育つことのできる居場所づくりを進めていきます。

## 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

### 4 “Key Project”について

#### Project 3

# 教職員が働きやすい環境づくり

- 教員の長時間勤務が課題となる中、本市においては2次にわたる「**教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針**」に基づき、様々な取組を進め、時間外在校等時間の縮減などの成果が出ているものの、文部科学省が指針として示した**時間外在校等時間の上限を超えている教員の割合は、依然として大きい状況**です。
- 35人学級制や特別支援学級の児童生徒数の増加等を要因として、**教員の定数は増加**していることに加え、全国的な教員不足の影響は本市でも例外ではなく、特に年度途中における産育休取得者の代替教員の確保が難しいなど、**教員不足の状況**が続いています。
- 今後も、各学校において「働き方・仕事の進め方改革」の実践の支援を進めるとともに、人材確保を含めた**更なる取組の推進に向け**、市立学校で**働く環境の改善を進めるためのしくみづくりを検討して**いきます。



#### 《検討の視点》

POINT  
1

#### 教育課程の編成による創造的な余白づくり

児童生徒の在校時間を短縮する工夫など、教員本来の業務である授業準備等に充てる時間の確保を検討していきます。

POINT  
2

#### 人材確保の取組や教員の負担軽減・業務改善

人材確保の取組を積極的に推進し、定数不足の解消を図っていきます。また、必ずしも教員が担う必要のない業務等について見直しを図るなど、教員の負担軽減に取り組んでいきます。

POINT  
3

#### 児童生徒主体の学びへの転換

児童生徒が主体的に考えて学びを自走していくように、教員はファシリテーター役を担う学びへの転換に向けた取組を推進していきます。

POINT  
4

#### しくみづくり・環境整備

ICT技術等を活用等した業務改善や委託化等により、教員の業務負担を軽減し、効率的な環境整備を推進していきます。

## 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

### 4 “Key Project”について

#### Project 4

# 生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

- 子どもだけでなく、大人にとっても、変化が激しく将来の予測が困難な時代を心豊かに生きていくために、**生涯を通じて学ぶこと**が大切です。さらに、個々の「学び」を社会に発揮することや、「学び」を通じたつながりづくりによって、**ウェルビーイング社会の実現が期待**されています。
- 市民館や図書館を中心とした**市域全体での「学び」の場づくり**や、地域教育会議や地域の寺子屋事業などの**地域での教育活動の推進を一層進めること**で、より幅広い市民が学び、互いに**学び合いながら、緩やかなつながりが広がるよう検討**していきます。



#### 《検討の視点》

POINT  
1

#### 生涯学習環境の充実による「学び」の推進

市域全体を学びの場と捉え、時間や場所にとらわれない「学び」の支援を推進していきます。市民の学びの意欲が学習の実践につながるよう、「学び」の内容、場所、手法等、さまざまな「学び」から市民が選択でき、いつでも、どこでも「学び」に触れることができるような生涯学習環境の充実を図ります。

POINT  
2

#### 「学び合い」を通じた緩やかなつながり

個人の「学び」を社会に発揮する人づくりや、「学び合い」による緩やかなつながりづくりを進めていきます。

POINT  
3

#### 学校と連携した教育活動

地域と学校が同じ教育理念を共有する「地域学校協働活動」を推進し、大人と子どもが共に学び合う活動の充実を図ります。

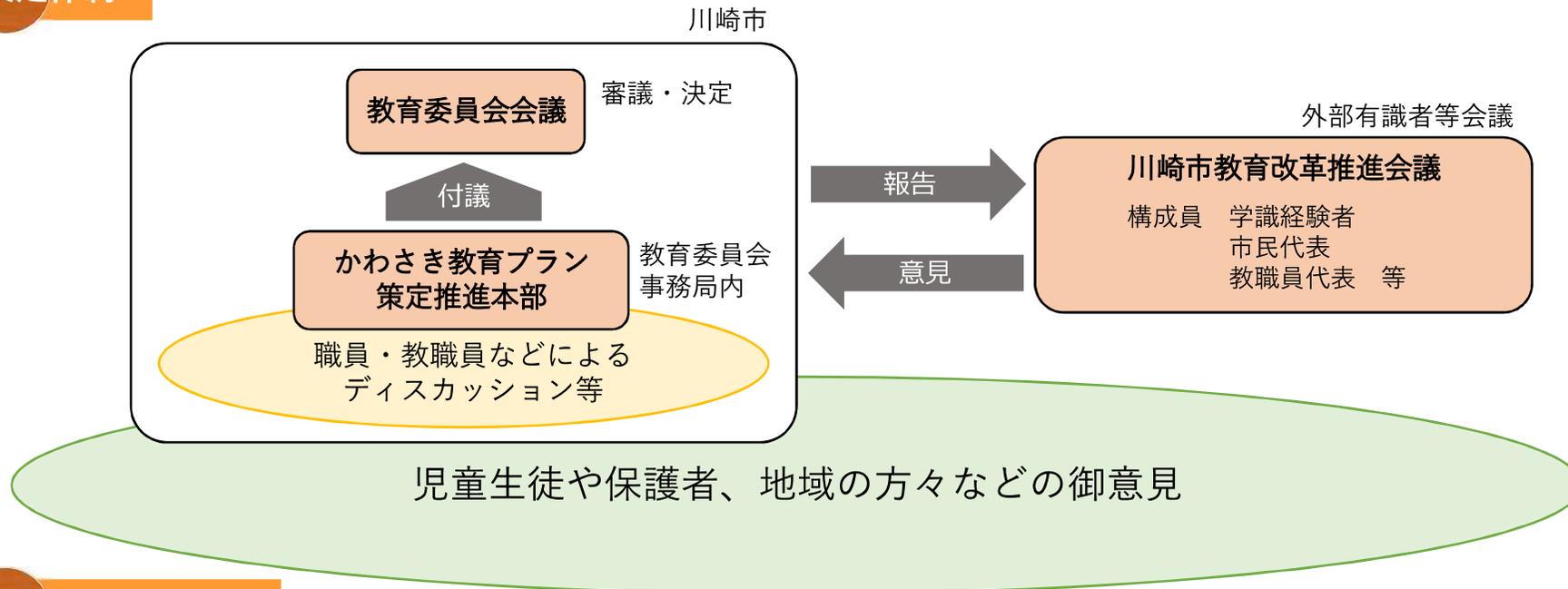
# 第3章 次期プラン策定に向けた考え方

## 5 策定体制及び策定スケジュール

これまで、次期プランの策定に向けて、児童生徒や保護者、地域の方々、教職員からいただいた御意見や、庁内でのディスカッション等が出された意見等を参考にしながら、かわさき教育プラン策定推進本部などにおける庁内検討や、川崎市教育改革推進会議での学識経験者や市民代表等による議論等を重ねながら策定作業を進め、教育委員会会議での審議等も行ってきました。

引き続き、「**みんなでつくる教育プラン**」となるよう、**市民の皆様からさまざまな場面を通じて御意見をいただくなどしながら、策定作業を進め、令和7(2025)年度中の策定をめざします。**

### 策定体制



### 策定スケジュール

|            |     |                           |
|------------|-----|---------------------------|
| 令和7(2025)年 | 11月 | 次期プランの素案公表・パブリックコメント手続の実施 |
| 令和8(2026)年 | 3月  | 次期プランの策定                  |

- 1 これまでの策定過程
- 2 「めざすもの」と「みんなと共有したい価値観」の検討過程
- 3 アンケートの結果
- 4 対面による意見聴取の結果
- 5 基礎データ

## 1 これまでの策定経過

| 開催日       | 会議名等   | 内容   |
|-----------|--|--|
| 令和6年3月21日 | 川崎市教育改革推進会議                                      | ○次期かわさき教育プランの策定について  |
| 4月16日     | かわさき教育プラン策定推進本部会議（第1回）                           | ○次期かわさき教育プランの策定について  |
| 6月18日     | かわさき教育プラン策定推進本部会議（第2回）                           | ○教育をとりまく状況の共有と“教育の世界観”について   |
| 7月10日     | かわさき教育プラン策定推進本部検討部会（第1回）                         | ○次期教育プランの策定に関する直近の動きについて<br>○次期教育プランの策定に向けた今後のスケジュールについて                       |
| 9月24日     | かわさき教育プラン策定推進本部会議（第3回）                           | ○次期かわさき教育プランの検討状況について  |
| 11月14日    | 川崎市教育改革推進会議                                      | ○次期かわさき教育プラン策定に向けた意見聴取について   |
| 11月25日    | 川崎市総合教育会議  | ○次期かわさき教育プランについて   |
| 令和7年1月30日 | かわさき教育プラン策定推進本部検討部会（第2回）                         | ○次期教育プランの検討状況について<br>○総合計画の改定について  |
| 2月4日      | かわさき教育プラン策定推進本部会議（第4回）                           | ○次期かわさき教育プランにおける基本理念・基本目標について<br>○かわさき教育プラン第2次計画期間における取組の成果と課題<br>○今後の策定スケジュール |
| 2月6日      | 川崎市教育改革推進会議                                      | ○次期かわさき教育プランにおける基本理念・基本目標について<br>○かわさき教育プラン第2次計画期間における取組の成果と課題<br>○今後の策定スケジュール |
| 3月25日     | かわさき教育プラン策定推進本部検討部会（第3回）<br>かわさき教育プラン策定推進本部（第5回） | ○「次期かわさき教育プランに向けた考え方」について<br>○今後の予定について  |
| 4月21日     | 教育委員会会議（定例会）                                     | ○「次期かわさき教育プランに向けた考え方」（素案）について  |
| 4月22日     | かわさき教育プラン策定推進本部（第6回）                             | ○「次期かわさき教育プランに向けた考え方」について<br>○今後の策定スケジュール                                      |
| 5月20日     | 教育委員会会議（定例会）                                     | ○「次期かわさき教育プランに向けた考え方」（案）について   |

2 「めざすもの」と「みんなと共有したい価値観」の検討過程

|     |  | 意見聴取  |  | 意見聴取を踏まえた協議   |  |          | 案の作成と絞り込み |  | 完成 |
|-----|--|---|--|---|--|----------|-----------|--|----|
|     |  | 意見聴取  |  | 検討の方向性  | 4パターン35案   | 4パターン11案 | 最終案       |  |    |
| 時期  | R6 4月～9月   | 11月～R7 1月   | 1月   | 1月～2月   | 2月～4月  |          |           |  |    |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 児童生徒や保護者、市民等へのアンケート</li> <li>✓ 関係団体等とのワークショップ等による対面での意見聴取</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 意見聴取結果のまとめ</li> <li>✓ 意見聴取を踏まえた協議</li> <li>✓ 関係団体へのフィードバック</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教育委員会事務局職員によるディスカッション等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 関係者等とのディスカッション等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 検討過程資料に対する各教育委員からの意見聴取等</li> <li>✓ 教育委員会会議での審議</li> </ul>     |          |           |  |    |
| 対象等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンケート (回答者数69,283人)<br/>児童生徒、保護者、教職員、社会教育団体、無作為抽出した市民</li> <li>■ 対面による意見聴取 (参加者数1,744人)<br/>市立学校児童生徒 (8校)、子ども会議、教職員、保護者 (PTA)、社会教育委員会、地域教育ネットワーク推進会議</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育改革推進会議 (11/14)</li> <li>■ 総合教育会議 (11/25)</li> <li>■ 川崎市PTA連絡協議会理事会 (12/5)</li> <li>■ 川崎市子ども会議 (12/15)</li> <li>■ 社会教育委員会 (12/20)</li> <li>■ 地域教育ネットワーク推進会議 (1/22)</li> <li>■ 各校種校長会 (12/3～1/22)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ディスカッション【8回、計53人】 (1/9～1/20)<br/>若手職員、指導主事、次期プラン検討チーム、各事業担当者</li> <li>■ 小学校長会 (1/21)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各教育委員 (1/24～2/3)</li> <li>■ 教育改革推進会議 (2/6)</li> <li>■ 中学校、高等学校、特別支援学校長会 (2/4～2/6)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育委員会会議 (4/21・5/20)</li> </ul> <p>※教育委員には、随時、情報提供・意見聴取を実施</p> |          |           |  |    |

## 3 アンケートの結果

### 概要

#### 1 児童生徒・保護者・教職員へのアンケート

- (1) 調査対象 市立学校の児童生徒※及び保護者、教職員  
※市立小学校（4～6年生）、市立中学校（全学年）、市立高等学校（全学年）、市立特別支援学校高等部（全学年）
- (2) 調査期間 令和6年7月8日（月）～7月31日（水）
- (3) 質問数（属性含む） 児童生徒・保護者11問 教職員10問
- (4) 回答方法 GIGA端末等を活用しロゴフォームで回答
- (5) 回答数 児童生徒 35,351人／71,158人（49.7%）  
保護者 29,713人／107,579人（27.6%）  
教職員 2,670人／7,275人（36.7%）

#### 2 社会教育関係者へのアンケート

- (1) 調査対象 地域教育会議、寺子屋先生、図書館関係ボランティア、識字ボランティア、保育ボランティア、文化財ボランティア
- (2) 調査期間 令和6年8月19日（月）～9月6日（金）
- (3) 質問数（属性含む） 12問
- (4) 回答方法 ログフォームで回答
- (5) 回答数 284人／4,871人（5.8%）

#### 3 市民アンケート

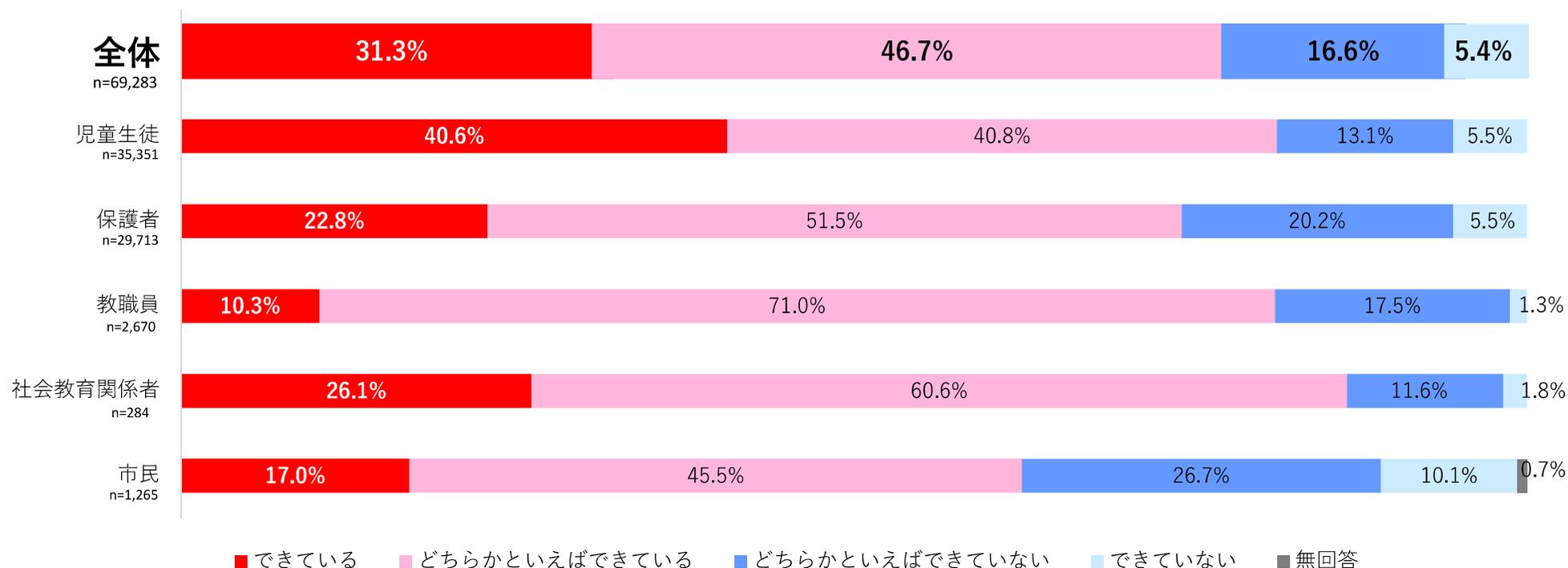
- (1) 調査対象 18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
- (2) 調査期間 令和6年8月23日（金）～9月9日（月）
- (3) 質問数（属性含む） 12問
- (4) 回答方法 郵送・WEBを選択して回答
- (5) 回答数 1,265人／3,000人（42.2%）

## 3 アンケートの結果

### Q1 あなたは、将来に対して夢や希望をもって生活することができますか。

※保護者／教職員に対しては「お子様／児童生徒は、将来に対して夢や希望をもって生活できていると感じていますか。」との設問

- ✓ 全体の約8割が、「将来に対して夢や希望をもって生活できている」ということに、肯定的な回答をしている。
- ✓ 児童生徒においては、令和3年度に実施した同設問の調査結果に比べ、肯定的な回答をした割合が多くなっている。



## 3 アンケートの結果

Q2 将来、子どもたちにはどのような大人になってほしいですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

※児童生徒に対しては「あなたは、将来、どのような大人になりたいですか。」との設問

- ✓ 全体では、「思いやりがあり、優しい人」が最も多く、約6割が回答している。
- ✓ 次いで「自分で考え、主体的に行動できる人」、「夢や希望を持ち、人生を送ることができる人」の順で多く回答している。

| 選択肢                       | 全体<br>n=69,283 | 児童生徒<br>n=35,351 | 保護者<br>n=29,713 | 教職員<br>n=2,670 | 社会教育関係者<br>n=284 | 市民<br>n=1,265  |
|---------------------------|----------------|------------------|-----------------|----------------|------------------|----------------|
| 思いやりがあり、優しい人              | <b>1</b> 60.3% | <b>1</b> 65.6%   | <b>2</b> 55.1%  | <b>2</b> 53.5% | 41.9%            | <b>2</b> 54.8% |
| 自分で考え、主体的に行動できる人          | <b>2</b> 58.6% | <b>3</b> 42.1%   | <b>1</b> 76.8%  | <b>1</b> 71.2% | <b>1</b> 75.4%   | <b>1</b> 60.1% |
| 夢や希望を持ち、人生を送ることができる人      | <b>3</b> 43.2% | <b>2</b> 51.1%   | 34.4%           | 36.7%          | <b>3</b> 43.0%   | <b>3</b> 43.3% |
| 困難な状況から、立ち直ることができる人       | 31.8%          | 23.8%            | <b>3</b> 41.4%  | 34.5%          | 28.5%            | 28.0%          |
| 多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人 | 31.4%          | 24.5%            | 37.1%           | <b>3</b> 53.1% | <b>2</b> 53.5%   | 40.3%          |
| 社会や周りの変化に対応できる人           | 30.7%          | 27.2%            | 34.6%           | 34.9%          | 22.2%            | 30.2%          |
| 世界的に活躍できる人                | 13.0%          | 21.2%            | 4.5%            | 1.3%           | 3.9%             | 7.7%           |
| 様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人 | 8.3%           | 10.2%            | 5.5%            | 8.1%           | 19.4%            | 17.3%          |
| その他                       | 1.9%           | 3.1%             | 0.7%            | 0.8%           | 0.0%             | 1.5%           |
| 無回答                       |                |                  |                 |                |                  | 0.4%           |

## 3 アンケートの結果

Q3 前問のような大人になるためには、どのような資質や能力が必要だと思いますか。  
当てはまるものを3つまで選んでください。

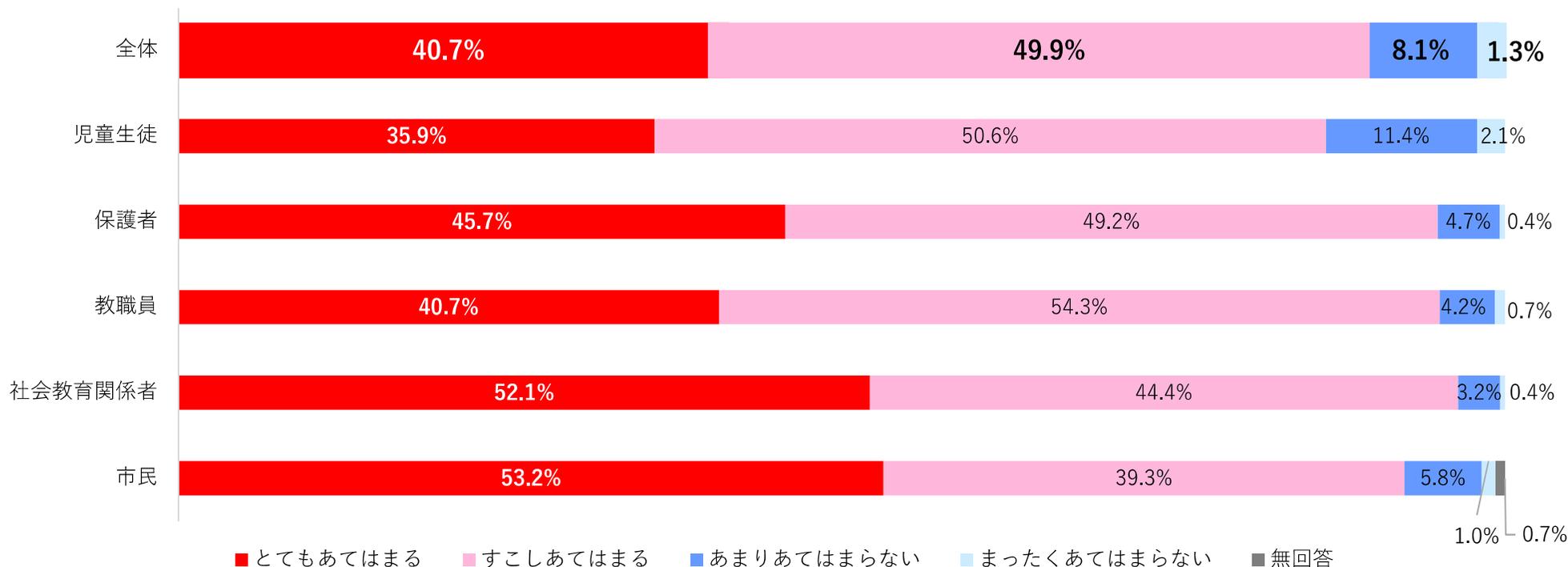
- ✓ 全体では、「問題を解決するための思考力・行動力」が最も多く、約半数が回答している。
- ✓ 次いで「他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力」、「失敗を恐れず挑戦する力」の順で多く回答している。
- ✓ 児童生徒においては、「基礎的・基本的な知識・技能」が最も多く、それ以外の属性の回答者と異なる結果となった。

| 選択肢                        | 全体<br>n=69,283 |       | 児童生徒<br>n=35,351 |       | 保護者<br>n=29,713 |       | 教職員<br>n=2,670 |       | 社会教育関係者<br>n=284 |       | 市民<br>n=1,265 |       |
|----------------------------|----------------|-------|------------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|------------------|-------|---------------|-------|
|                            | 順位             | 割合    | 順位               | 割合    | 順位              | 割合    | 順位             | 割合    | 順位               | 割合    | 順位            | 割合    |
| 問題を解決するための思考力・行動力          | 1              | 46.4% | 3                | 39.0% | 1               | 55.0% | 2              | 46.6% | 1                | 54.2% | 2             | 46.2% |
| 他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力 | 2              | 41.7% |                  | 33.4% | 2               | 48.9% | 1              | 62.5% | 2                | 52.8% | 1             | 56.2% |
| 失敗を恐れず挑戦する力                | 3              | 41.2% | 2                | 46.1% |                 | 37.0% |                | 31.6% |                  | 25.0% |               | 27.0% |
| 基礎的・基本的な知識・技能              |                | 37.8% | 1                | 46.8% |                 | 28.2% |                | 28.5% |                  | 32.0% | 3             | 36.0% |
| 自分の考えを持って、表現する力            |                | 34.2% |                  | 28.3% | 3               | 41.4% |                | 33.5% |                  | 32.7% |               | 31.4% |
| 自ら主体的に学びに向かう力・姿勢           |                | 33.8% |                  | 27.6% |                 | 40.5% | 3              | 38.6% | 3                | 41.2% |               | 34.5% |
| 違う意見の人と歩み寄って、解決方法を決めていく力   |                | 16.4% |                  | 12.3% |                 | 19.8% |                | 28.1% |                  | 30.6% |               | 22.4% |
| 新しいものや考えを生み出す創造的な力         |                | 12.7% |                  | 16.5% |                 | 8.7%  |                | 7.2%  |                  | 14.1% |               | 12.6% |
| 社会生活に必要な常識やきまりを守る力         |                | 12.5% |                  | 13.2% |                 | 11.0% |                | 16.5% |                  | 9.5%  |               | 18.2% |
| 集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ      |                | 7.5%  |                  | 12.8% |                 | 2.0%  |                | 1.3%  |                  | 2.5%  |               | 2.2%  |
| その他                        |                | 0.8%  |                  | 1.1%  |                 | 0.5%  |                | 0.6%  |                  | 0.4%  |               | 1.0%  |
| 無回答                        |                |       |                  |       |                 |       |                |       |                  |       |               | 0.4%  |

## 3 アンケートの結果

Q4 あなたは、学校において、社会の変化に合わせてこれまでとは違う新しい学び方を取り入れるべきだと思いますか。

- ✓ 全体の約9割が、学校においてこれまでとは違う新しい学び方を取り入れることについて、肯定的な回答をしている。
- ✓ 回答者の属性別にみたところ、児童生徒の肯定的な回答が全体よりも低い割合となっている。

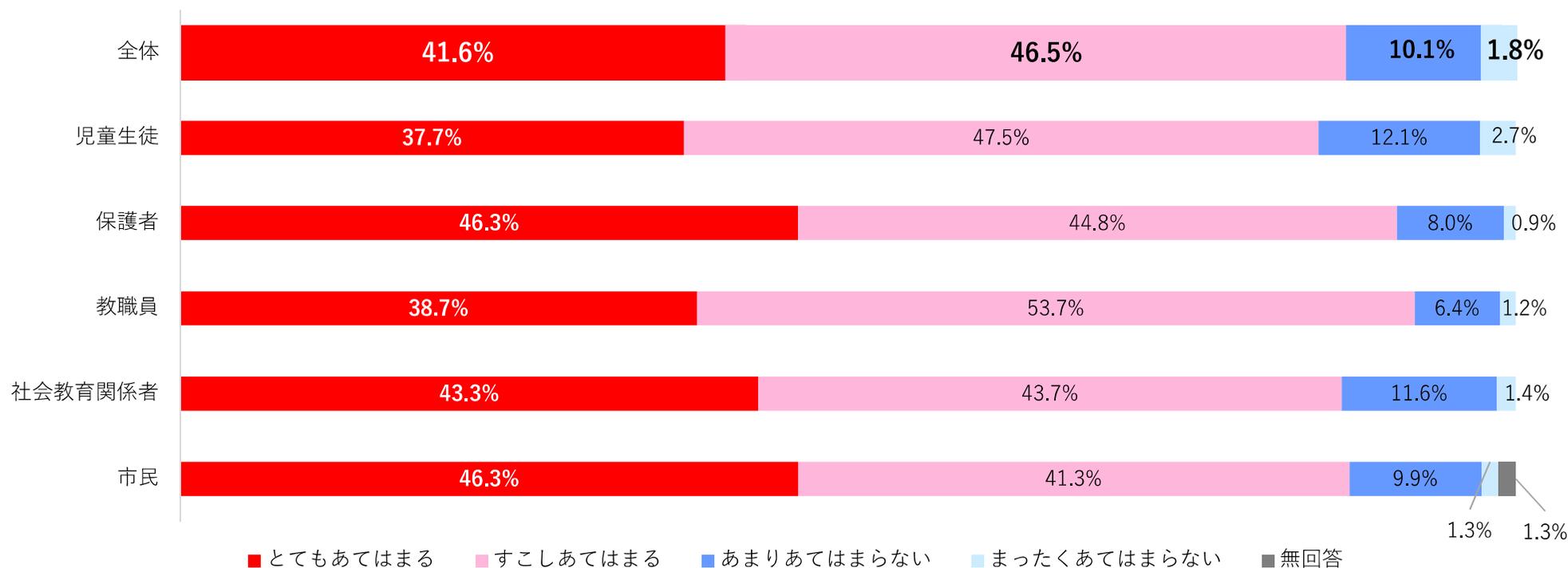


## 3 アンケートの結果

Q5 あなたは、学校における日々の学習状況や学校生活の記録などのデータを、学校での学びや児童生徒への指導の改善に役立てていくべきと考えますか。

※児童生徒に対しては「日々の学習状況や学校生活の記録などのデータを、自分の学習や生活をよりよくすることに役立てたいと考えますか。」との設問

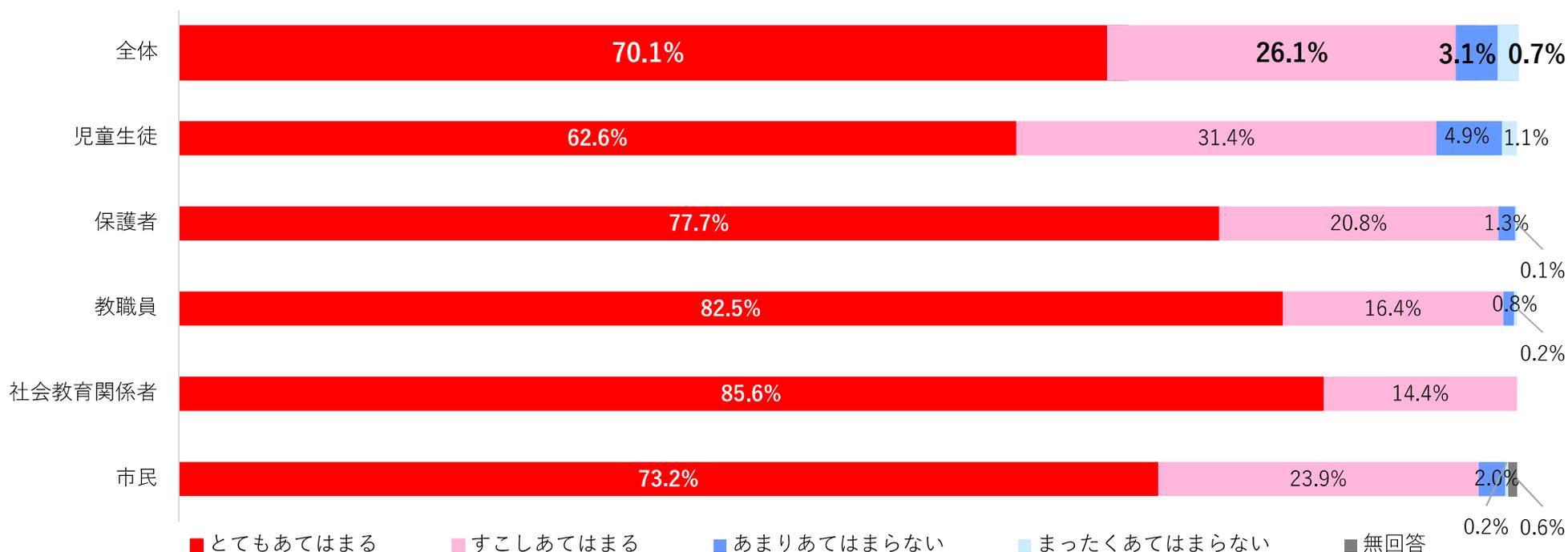
- ✓ 全体の約9割が、日々の学習状況や学校生活の記録などのデータを学校での学びや児童生徒への指導の改善に役立てることについて、肯定的な回答をしている。
- ✓ 回答者の属性別にみたところ、児童生徒の肯定的な回答が全体よりも低い割合となっている。



## 3 アンケートの結果

Q6 あなたは、学校を卒業した後も、生涯を通じて学び続けることは重要と考えますか。

✓ 全体の9割以上が、生涯を通じて学び続けることが重要と考えている。



## 3 アンケートの結果

Q7 「人生100年時代」において、あなたは、学校以外でどのように学び、活動していくことが必要だと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

- ✓ 全体では、「人生の各場面で生じる様々な課題に対応して学んでいくこと」が最も多く、約6割が回答している。
- ✓ 次いで「多様な年代や多彩な属性の他者と共に学んでいくこと」、「生涯にわたって能動的に学び続けること」の順で多く回答している。

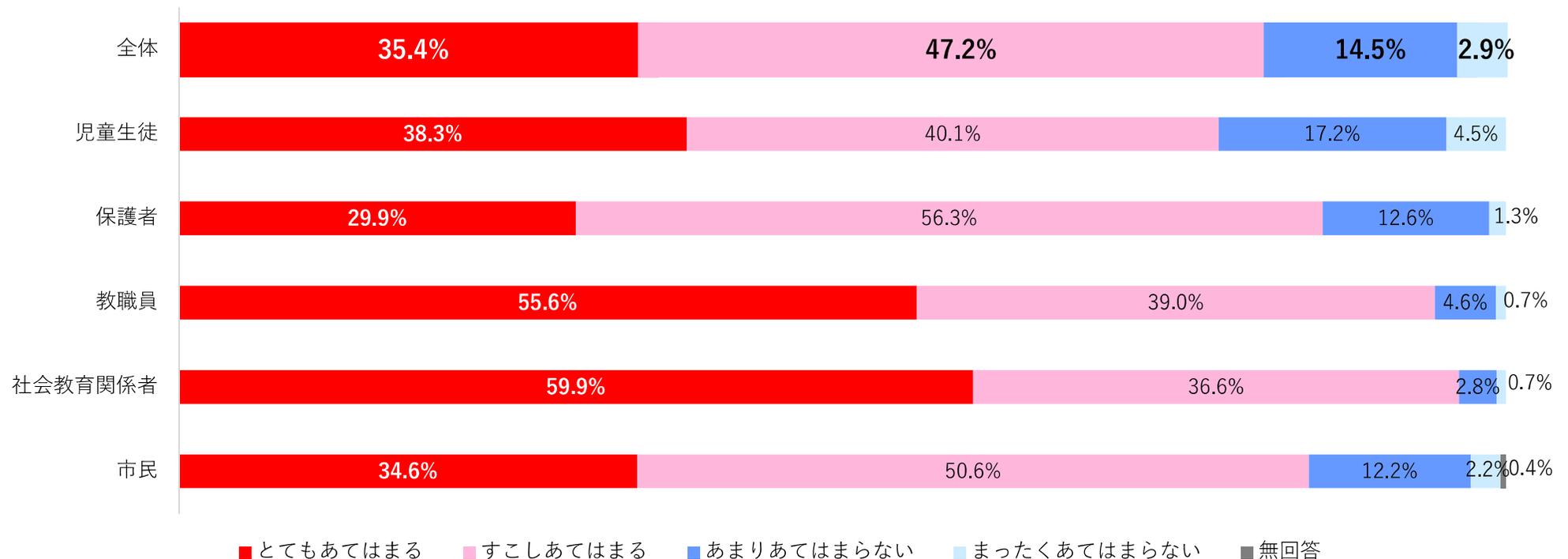
| 選択肢                                      | 全体<br>n=1,549 |       | 社会教育関係者<br>n=284 |       | 市民<br>n=1,265 |       |
|--|---------------|-------|------------------|-------|---------------|-------|
|  | 順位            | 割合    | 順位               | 割合    | 順位            | 割合    |
| 人生の各場面で生じる様々な課題に対応して学んでいくこと              | 1             | 54.5% | 3                | 46.1% | 1             | 56.2% |
| 多様な年代や多彩な属性の他者と共に学んでいくこと                 | 2             | 53.6% | 1                | 61.3% |               | 51.2% |
| 生涯にわたって能動的に学び続けること                       | 3             | 52.9% | 2                | 55.3% | 3             | 52.0% |
| 社会の変化に対応していくため、必要となるスキル等を学び続けること         |               | 52.1% |                  | 39.1% | 2             | 54.9% |
| 地域社会の担い手につながるような学びや活動                    |               | 18.1% |                  | 27.8% |               | 15.6% |
| 地域の住民自身が主体的に教え、学び合う当事者となるような活動           |               | 14.5% |                  | 26.8% |               | 11.6% |
| 関係機関との連携やICTの利用などにより誰一人として取り残すことのない学びや活動 |               | 13.3% |                  | 12.0% |               | 13.6% |
| その他                                      |               | 1.4%  |                  | 0.7%  |               | 1.6%  |
| 無回答                                      |               |       |                  |       |               | 0.9%  |

## 3 アンケートの結果

Q8 あなたは、地域の人材や保護者などが、学校での教育活動や地域での子育てに積極的に関わっていくべきと考えますか。

※児童生徒に対しては「あなたは、家族以外の地域の大人たちと、交流したり話をしたりするなど、関わりたいと思いますか。」との設問

- ✓ 全体の8割以上が、地域の人材や保護者などが、学校での教育活動や地域での子育てに積極的に関わっていくべきと考えている。
- ✓ 回答者の属性別にみたところ、児童生徒の肯定的な回答が全体よりも低い割合となっている一方で、教職員と社会教育関係者の回答が全体よりも高い割合となっている。



### 3 アンケートの結果

Q9 【自由記述】あなたが今後の川崎市の教育に期待することがあれば教えてください。

#### <概略>

- 児童生徒へのアンケートでは、思いやりある教育や教育環境の改善、グローバル教育の拡充、多様性の尊重などの意見が多く出された。特に、いじめの減少や未来を見据えた教育の実現が求められている。また、プログラミング教育やデジタル化の推進、健康管理や安全対策の強化、経済的支援の無償化についての意見も目立った。
- 保護者へのアンケートでは、英語教育の強化や多様性・個性の尊重、教育環境の改善、地域と学校の連携などの意見が多く出された。また、教科担任制の増加やアクティブラーニングの導入、教師の質の向上、インクルーシブ教育の推進などについての意見も目立った。
- 教職員へのアンケートでは、教育環境の改善やICT利用の推進、働き方改革の推進、教育予算の拡充などの意見が多く出された。また、教職員の人員確保や労働環境の改善、学級の規模縮小、多様性を尊重する教育などについての意見も目立った。
- 社会教育関係者へのアンケートでは、国際感覚の育成や自主性、問題解決力の向上、教育機会の充実、教員不足の解消と負担軽減などの意見が多く出された。また、異文化交流や多様性の受け入れ、ICTの活用、貧困対応などについての意見も目立った。
- 市民へのアンケートでは、平和教育や教育環境の改善、多様性への理解などの意見が多く出された。また、世界の現状を学ぶことや地域と教育の連携、多様性教育の推進などについての意見も目立った。

## 4 対面による意見聴取の結果

| 区分         |         | 団体等      |   | 人数  | 場面   |
|------------|---------|----------|---|---|--|
| 学校教育<br>関係 | 児童生徒    | 小学校      | 旭町小学校（6年生）<br>上丸子小学校（6年生）<br>西菅小学校（6年生）   | 282人  | 総合的な学習の時間（4/24）<br>特別活動（7/11）<br>総合的な学習の時間（6/27） |
|            |         | 中学校      | 塚越中学校（1年3組）<br>住吉中学校（2年生）<br>はるひ野中学校（生徒会） | 149人  | 特別活動（6/19）<br>社会科授業（7/17）<br>生徒会（7/2）            |
|            |         | 高等学校     | 橘高等学校（3年生）                                | 241人  | H R（6/3・10）                                      |
|            |         | 特別支援学校   | 田島支援学校高等部（1～3年）                           | 127人  | 生徒総会（7/17）                                       |
|            |         | 川崎市子ども会議 |   | 26人   | （6/16）   |
|            | 教職員     | 教職員      | 876人                                      | 学校支援連絡調整会議（2/14）<br>キャリア担当者研修（4/26）<br>新任校長研修（7/24）<br>教頭研修（7/29）<br>中堅教諭等資質向上研修（7/29）<br>3年目教員研修（8/27） |  |
| 社会教育関係     | P T A   |          | 16人                                       | 川崎市P T A連絡協議会理事会（5/2）   |  |
|            | 地域関係者   |          | 14人                                       | 地域ネットワーク推進会議（8/7）   |  |
|            | 社会教育関係者 |          | 13人                                       | 社会教育委員会議（9/11）  |  |
| 合計         |         |          |   | <b>1,744人</b>   | —  |

## 4 対面による意見聴取の結果

### まとめ

- ✓ 児童生徒からは、周りを見て行動する、自分にできることを考え行動できるなど、**行動できる力**を身につけたいとの意見が多く出された。
- ✓ また、人を助ける、社会に貢献する、社会のルールを理解するなど**社会で役立つ大人**になることを望んでいる意見も目立った。
- ✓ さらに、他の人を大切にできる、家族を大切にできる、みんなに信頼されるなど、**周りの人を大切にする大人**という意見も目立ち、あわせて、友達や家族に**優しい大人**という意見も目立った。
- ✓ ワード分析で見られる「**コミュニケーション**」というワードは、コミュニケーション力が高いと、相手を安心させることができることや、チームが団結するためにコミュニケーション力をつける、誰に対しても関係なく優しくするためにコミュニケーション力をつけるという具体的な行動に対するワードとして出ている。

### ◆ワードクラウド



### ◆多く出された言葉

|            |      |
|------------|------|
| ①行動        | 125件 |
| ②周り        | 106件 |
| ③コミュニケーション | 100件 |
| ④勉強・授業・学習  | 95件  |
| ⑤将来・未来     | 81件  |

## 4 対面による意見聴取の結果

### 1 小学校での主な意見

**自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？**

- 思いやりが持てて、頼られる大人になりたい。そのためには相手のことを考えて、自分から何か始める力、自ら進んで挑戦できる力が必要
- 自分の仕事を全うできるような大人になりたい。そのためにはまわりにいる人と協力して活動することが大切だと思う。
- 口だけじゃなくて行動に移せる力と大人になりたい。
- みんなに優しく接する人。みんなに優しく接することで笑顔が増えるから。
- 優しく思いやりがある人。思いやりと意外と難しいから、その難しい事をできるようにしたい。
- 夢を追い続けるような大人。そのためには、あきらめない力、努力、行動力が必要
- 自分で川崎を作って、たくさんの幸せをさらに増やすことのできる大人



### 2 中学校での主な意見

**自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？**

- 誰かのためになることがあたりまえにできる人。道とくなどの親切な人のことを学びたい。
- 自分の得意なことを活かして世界で活躍できる大人になりたい。世界に行くために自己表現する、自分の世界を表現できる力を身につけたい。
- まともな大人になりたい、礼儀とかがちゃんと身に付いてあるようにしたい。

**自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どんな学びをしていきたいか？**

- 英語や漢字を勉強して何かを知っていても、知っていて使えなかったら意味がないから、その意味や使い方を理解して活用できるようになれるような学び
- コミュニケーション能力を育てる。将来人と関わっていく上で、コミュニケーションを取っていくことは、社会で生きていく上で必須になっていく。
- ビジネスに関すること、生活する上で注意すべきこと（税金とか）、お金の使い方



## 4 対面による意見聴取の結果

### 3 高等学校での主な意見

**自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？**

- ・ 社会に貢献できるような大人。挑戦しないと社会には貢献できないから、何事にも挑戦する力が必要
- ・ 人に夢、目標を与えられるような大人になりたい。そのためには、考えていること、思っていることを言葉としてきちんと表現する力や相手を想った発言、行動する力が必要
- ・ 多くの課題を抱える日本の社会に大きく貢献できる人。世界的にビックデータや情報が重要視されており、情報戦争という言葉が溢れているように多くのデータを扱える人が重要になってくると考える。

### 4 特別支援学校での主な意見

**川崎市の教育に期待することは？**

- ・ 働くための知識をより多く取り入れることと、法的なことをもう少し教えてほしいです。勇気がたくさんある大人
- ・ 思いやり、尊重をこれからもあるようにこれからもみんなにも与えてくれると期待しています。
- ・ この先の子どもが明るく希望をもって豊かに暮らせて偏見や差別がなく非行に走らないでいられる世の中
- ・ グレーゾーンに生きやすい制度を導入してほしい。



### 5 川崎市子ども会議での主な意見

**自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？**

- ・ 高齢者や障がいをもっている人に優しくできる大人
- ・ 自分の特技を活かして誰かを幸せにできる人
- ・ 人を勇気づけたり笑顔にできる大人になりたいです。
- ・ 学校の総合的な時間のときに周りの人や地域の人々の気持ちとか考える時間を作る。
- ・ 自分の好きなことをとことん楽しむ、楽しめる大人になりたい。
- ・ 政治のしくみについて学校でもより深く学習する。

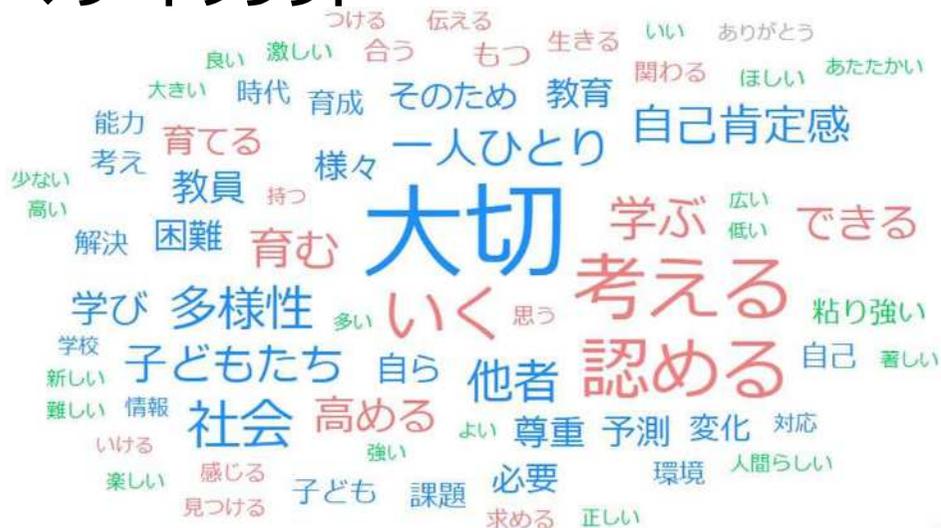


## 4 対面による意見聴取の結果

### まとめ

- ✓ 教職員からは、これからの子どもたちに対し、**他者を尊重することや他者と協働すること**など、他者との関わりの中で、自分らしさを発揮することを大切にしてほしいという意見が多く出された。特に、**多様性を認めること**を重要と考えている意見が多く出された。
- ✓ また、教職員の多くから、変化が激しく、予測困難な時代・社会だからこそ、**粘り強く考え、取り組む力**を大切にするとともに、困難な状況に直面しても立ち直る**レジリエンス**を身につけてほしいという意見も目立った。
- ✓ さらに、情報過多であったり、欲しい情報をすぐに手にいられる世の中であるがゆえに、**正しい知識や正しい情報を取捨選択できる力**を身につけてほしいという意見も目立った。
- ✓ ワード分析でみられる「**大切**」というワードは、自分を大切にするという意味と、相手を大切にするという両面の要素が含まれており、**自分も相手も大切に尊重してほしい**と読み取れる内容になっている。

### ◆ワードクラウド



### ◆多く出された言葉

- |          |      |
|----------|------|
| ①さまざま・変化 | 149件 |
| ②時代      | 102件 |
| ③課題      | 83件  |
| ④多様性     | 83件  |
| ⑤解決      | 80件  |

## 4 対面による意見聴取の結果

### 教職員の主な意見

#### 本市の今後の教育で大切にしたいことは？

- 子ども一人ひとりの学び方を尊重した授業づくりをしていきたい。
- 個生の尊重を大切にしながら、一人ひとりが認められる教育活動
- 予測困難な時代の中で絶対に揺るがないものは「自分」
- 予測困難な社会になるからこそ自分で学ぶことを大切にしたい。
- 自分のことも認め、他人のことも認められる環境にしたい。
- 自分で考え、決める、行動することが大切になると考える。
- さまざまな不安なことがあっても自信をもてるよう、自己肯定感を高める。
- 情報の取捨選択して自身の課題や必要な知識を身につける。





## 4 対面による意見聴取の結果

### 1 川崎市PTA連絡協議会理事会での主な意見

どのような資質・能力を持った子どもを育てたいか？学校の教育活動で大切にしてほしいこと、大切にしたいことは何か？

- いろいろな体験のできる学び
- 親も学校も子どもも支えの必要な人や場合について知る。
- 他者との比較でなく、個性の自覚などで自分の存在を認識できるようになる教育
- 教育活動は学校内でだけでなく、地域や専門分野と行う。
- 他の子と比べず、自分の持っている個性に自信を持ってほしい。
- 先生から教わるのではなく、自分が教える、友達から教わる。
- 子どもの好きな事、好きな物のその先を見通せる力、想像力
- 川崎で教育を受けて良かったと思える教育



川崎市PTA連絡協議会理事会

### 2 地域ネットワーク推進会議での主な意見

子どもたちに将来どんな大人になってほしいか？そのために必要なこと、地域や大人ができることは何か？

- 価値観を認め合う多様性の世界に向け、大人があいさつや学習面で手本を見せる。
- 自分の思いと願いをもち、目標に向かって行動していける子
- 寺子屋の充実
- 相手の気持ちも考えて行動することができる子、思いやり
- 大人がさまざまな事にいどむ姿を見せる。大人がチャレンジする。
- 「ありがとう」と「たすけて」が言える。
- きちんとあいさつのできる子
- 困難にあたってもくじけずに立ち向かえる。



地域ネットワーク推進会議

## 4 対面による意見聴取の結果

### 3 社会教育委員会議での主な意見

「人生100年時代」において、市民が、学校以外でどのように学び、活動していくことが必要だと思うか？

- ウェルビーイングを高める教育を推進する。
  - ・一人ひとりが自己肯定感を高め前向きにチャレンジできるようになるという観点を重視する。
  - ・一人ひとりが他者と対等な立場で協力できるようになるという観点を重視する。
  - ・一人ひとりが自立（自律）し自らが掲げた目的達成のために努力するようになるという観点を重視する。
- 誰一人取り残さない教育を推進する。
  - ・差別や偏見を克服し、高齢者や障がい者、外国人などを含めてすべての人の学ぶ権利を保障する。
  - ・「他人の困りごとを自分ごととしてとらえる」ことをとおして、すべての人が共に生きられる社会をめざす。
  - ・すべての人が、高度情報通信ネットワーク社会を生きる知恵とスキルを身につける。
- 元気で持続的なコミュニティを創出する。
  - ・子どもの人権を擁護し、すべての子どもが夢を持ち自由でのびのびと生活できるような「子どもファースト社会」をめざす。
  - ・地域の行事や社会教育の活動をとおして、市民による「つながり」「学び合い」「助け合い」の拡充を図る。
  - ・地域と学校との協働をとおして、子どもの豊かな成長と市民同士の学び合いを推進する。
- 人生100年時代を支える社会的基盤を整備する。
  - ・格差や貧困を是正し、学び直しを含めて持続的で多様な学びを实践できるような環境を創る。
  - ・市民一人ひとりのニーズなどが多様化していることから、社会教育や福祉の専門職員等による「人に寄り添う行政」を推進する。



社会教育委員会議



社会教育委員会議

## 5 基礎データ

以下、断りのない限り、川崎市または川崎市立学校に関するデータを年度で示しています。

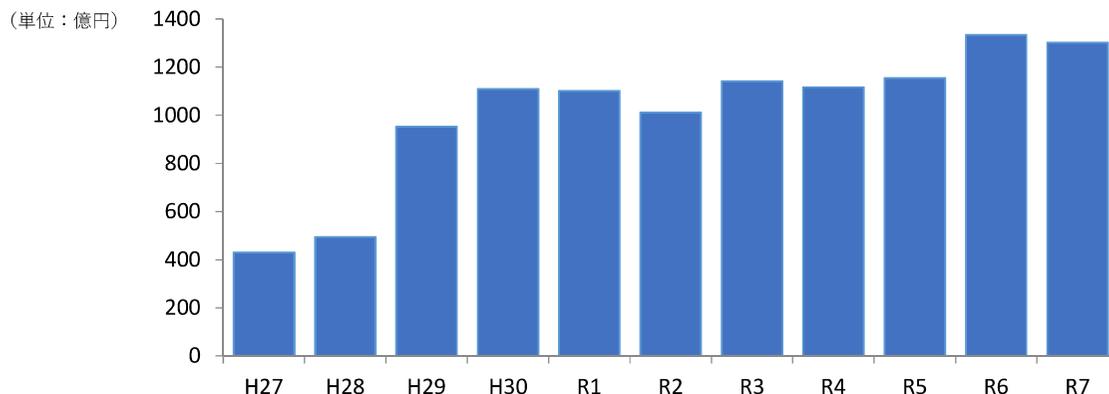
### (1) 学校数・学級数・児童生徒数・教員数・職員数

令和6年5月1日現在

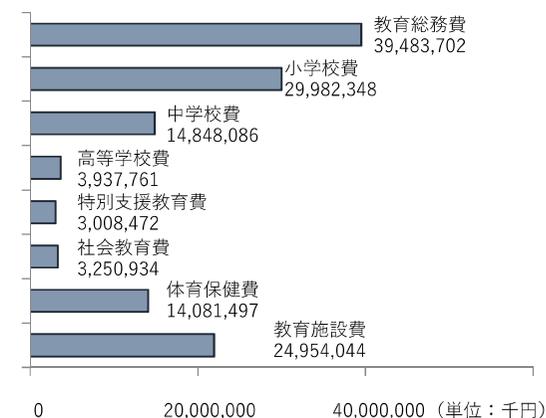
| 区分     | 学校数<br>(校) | 学級数<br>(級) | 児童生徒数 (人) |        |         | 教員数<br>(本務者)<br>(人) | 職員数<br>(本務者)<br>(人) |
|--------|------------|------------|-----------|--------|---------|---------------------|---------------------|
|        |            |            | 男         | 女      | 計       |                     |                     |
| 合計     | 175        | 4,223      | 55,553    | 52,026 | 107,579 | 6,947               | 363                 |
| 小学校    | 114        | 2,894      | 37,556    | 35,407 | 72,963  | 4,157               | 251                 |
| 中学校    | 52         | 1,030      | 15,536    | 14,378 | 29,914  | 1,993               | 88                  |
| 高等学校   | 5          | 133        | 2,036     | 2,019  | 4,055   | 409                 | 8                   |
| (全日制)  | 5          | 95         | 1,775     | 1,804  | 3,579   | 311                 | 7                   |
| (定時制)  | 4          | 38         | 261       | 215    | 476     | 98                  | 1                   |
| 特別支援学校 | 4          | 166        | 425       | 222    | 647     | 388                 | 16                  |

- ※ 高等学校は、全日制課程と定時制課程を併置（幸高等学校を除く）
- ※ 特別支援学校は、分校（1校）を含む。また、聾学校幼稚部を含む。
- ※ 児童生徒数及び学級数は、特別支援学級を含む。夜間学級は含まない。

### (2) 教育費の当初予算の年度別推移

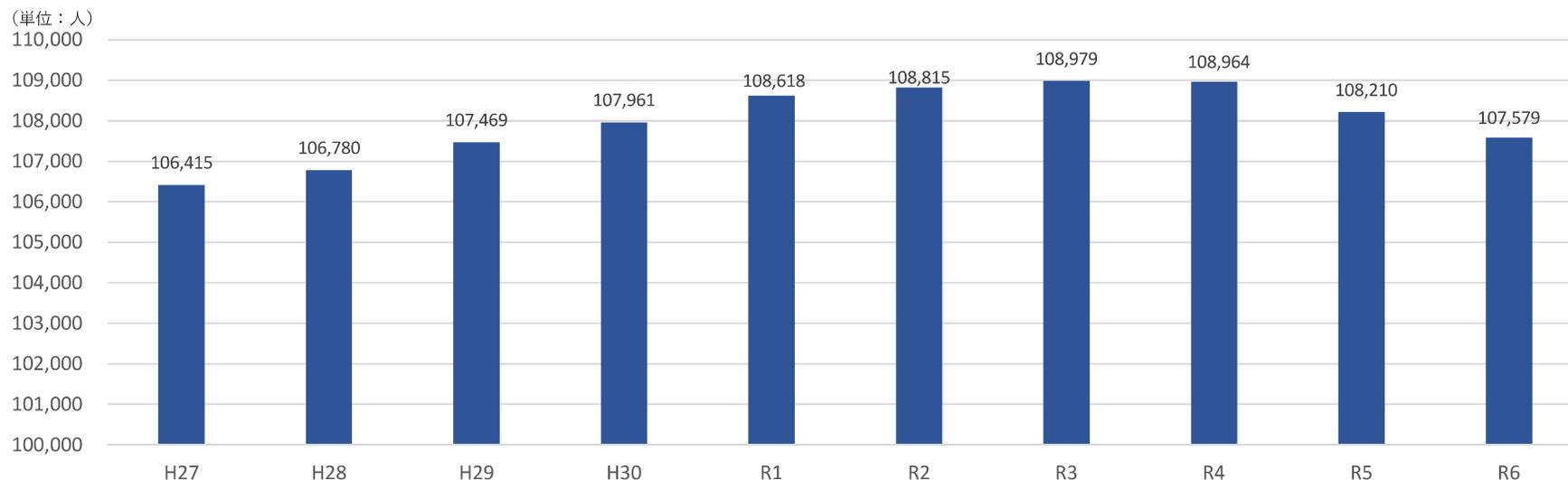


### ■ R7年度費目別歳出予算額

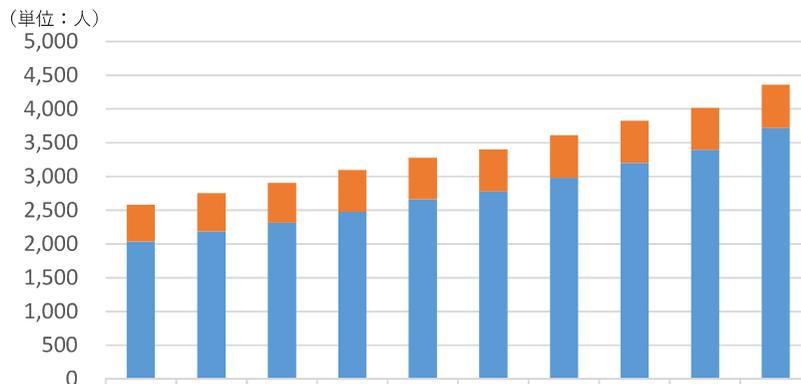


## 5 基礎データ

### (3) 児童生徒数の推移（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）

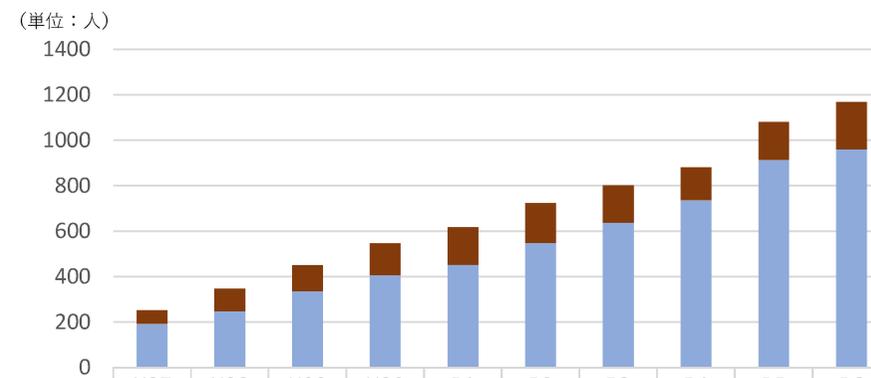


### (4) 特別支援学校・特別支援学級在籍者数の推移



|        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 特別支援学校 | 547   | 566   | 591   | 616   | 617   | 624   | 631   | 617   | 618   | 647   |
| 特別支援学級 | 2,037 | 2,186 | 2,316 | 2,480 | 2,660 | 2,776 | 2,979 | 3,205 | 3,397 | 3,712 |

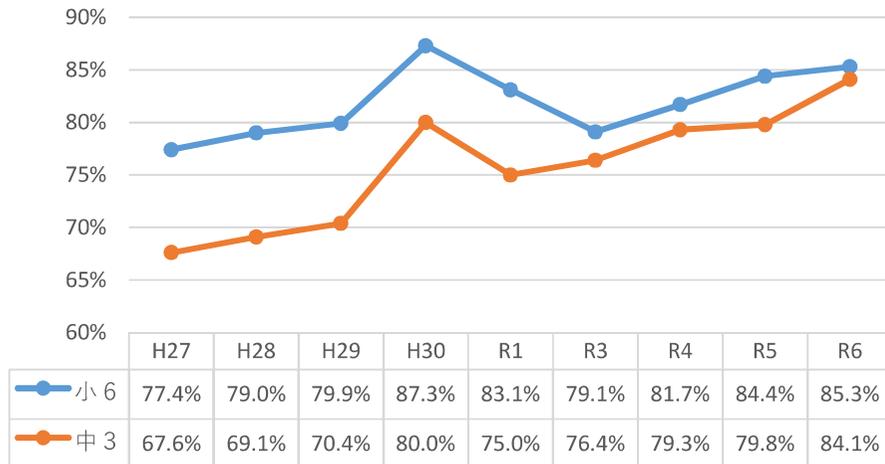
### (5) 日本語指導が必要な児童生徒数の推移



|     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 中学校 | 61  | 101 | 116 | 140 | 166 | 177 | 166 | 147 | 168 | 208 |
| 小学校 | 193 | 247 | 335 | 407 | 451 | 547 | 636 | 735 | 913 | 960 |

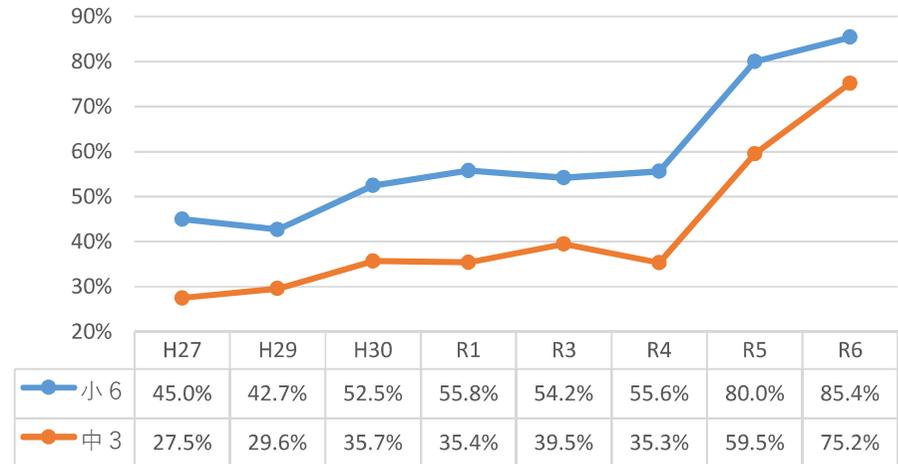
## 5 基礎データ

### (6) 児童生徒の自己肯定感の推移



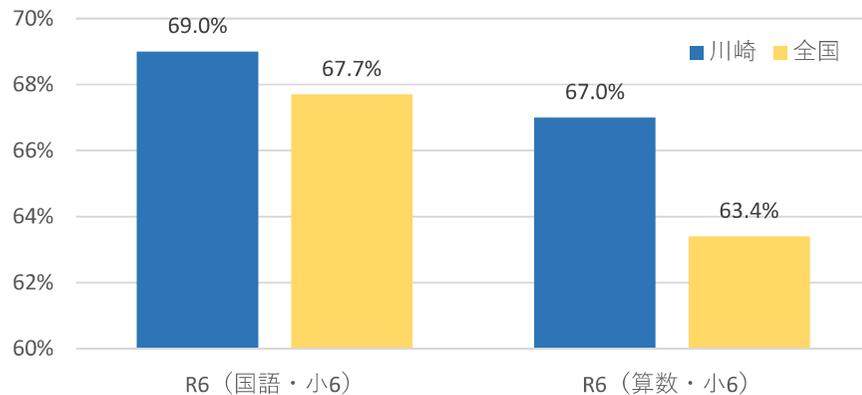
※出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」をもとに作成  
 ※令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施

### (7) 児童生徒の社会参画の意識の推移

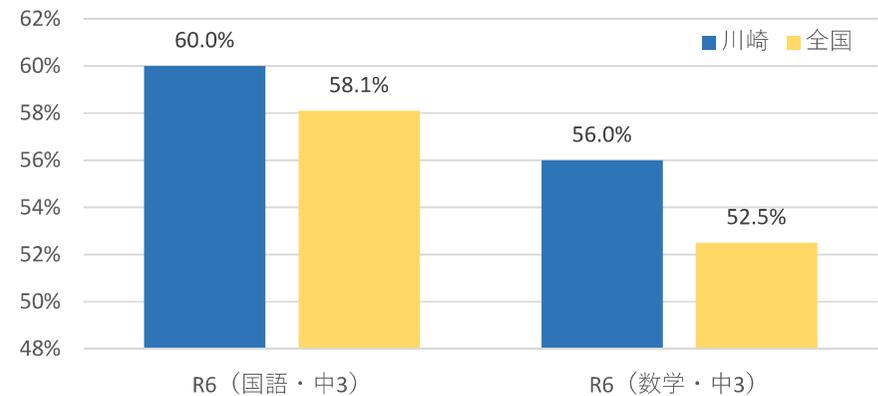


※出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」をもとに作成  
 ※令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施

### (8) 各教科の平均正答率（小6・国語、算数）（中3・国語、数学）



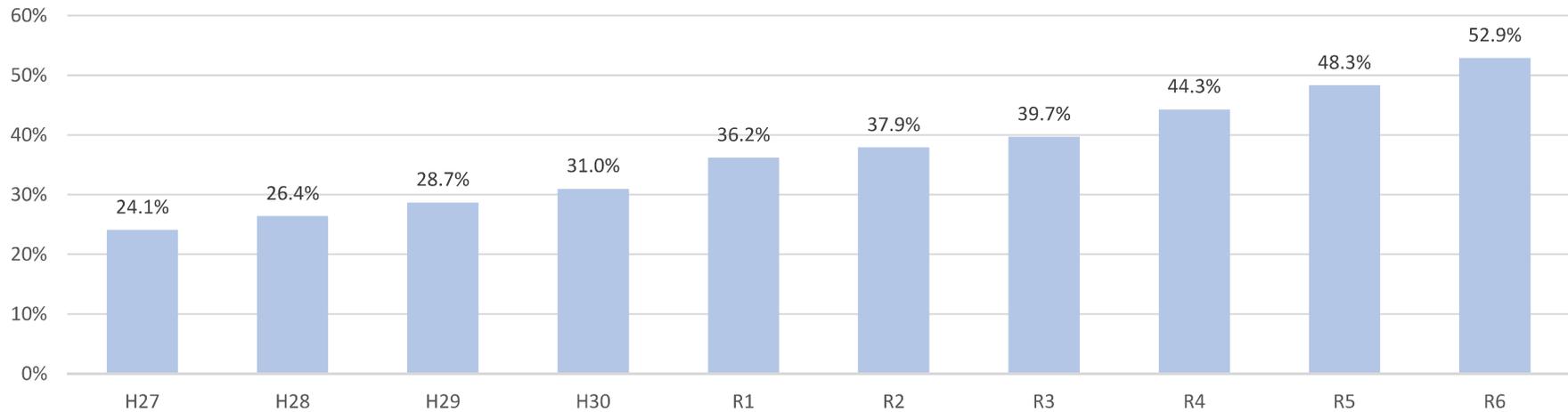
※出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（令和6（2024）年度実施）をもとに作成



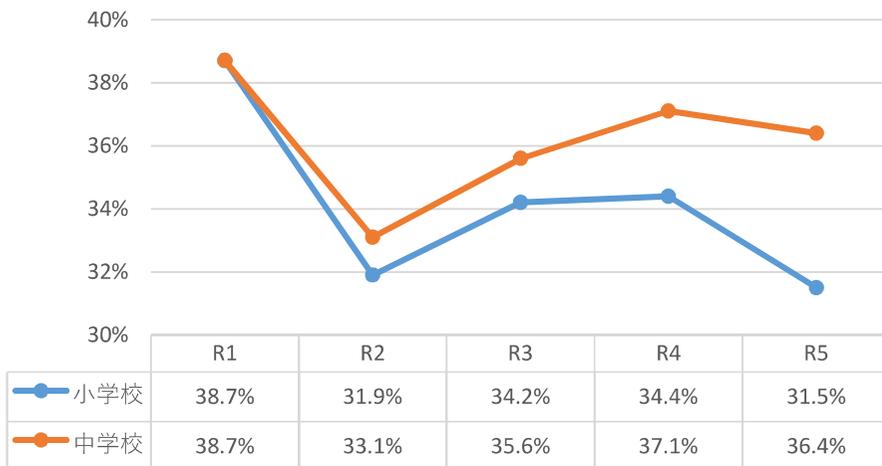
※出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（令和6（2024）年度実施）をもとに作成

5 基礎データ

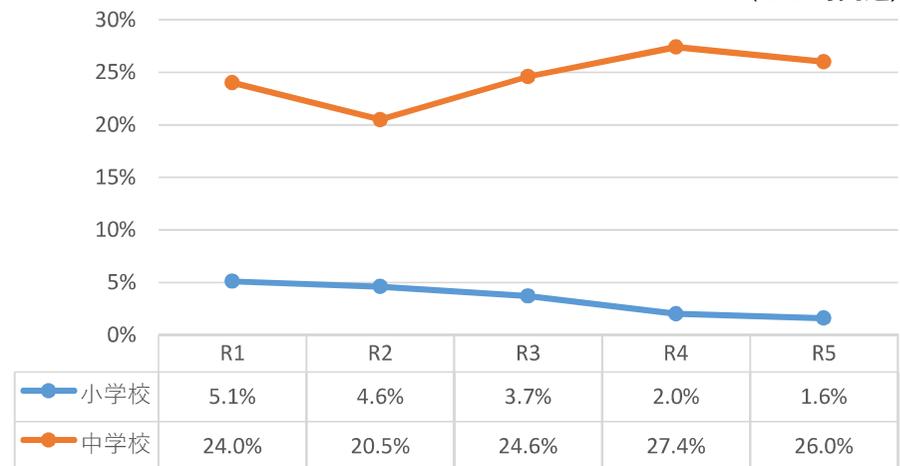
(9) 老朽化対策及び質的改善が行われた学校施設の割合の推移



(10) 教員の1か月あたりの時間外在校等時間の推移  
(45時間～80時間未満)

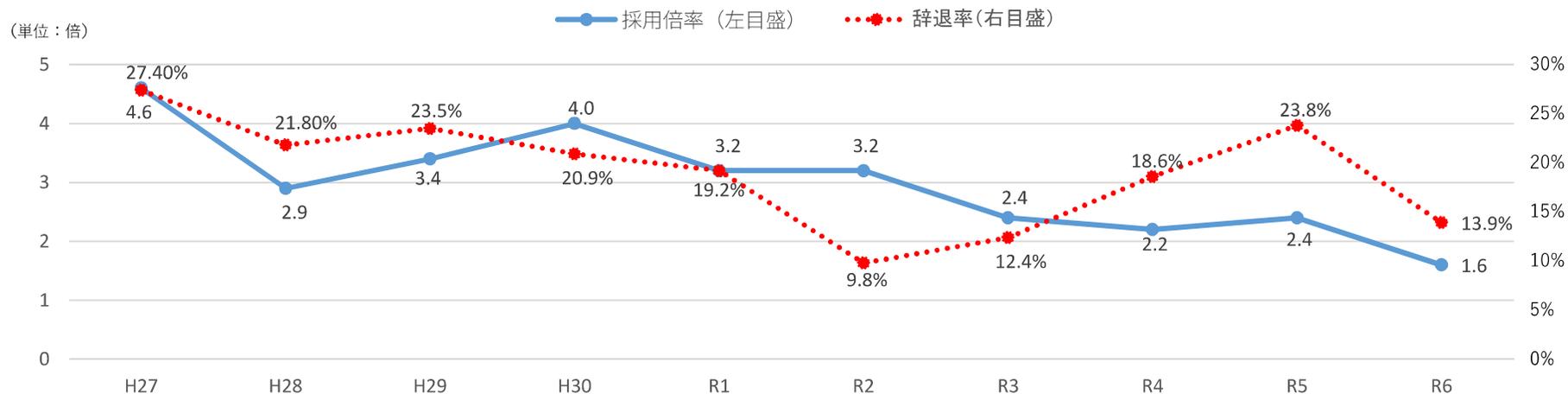


(11) 教員の1か月あたりの時間外在校等時間の推移  
(80時間超)

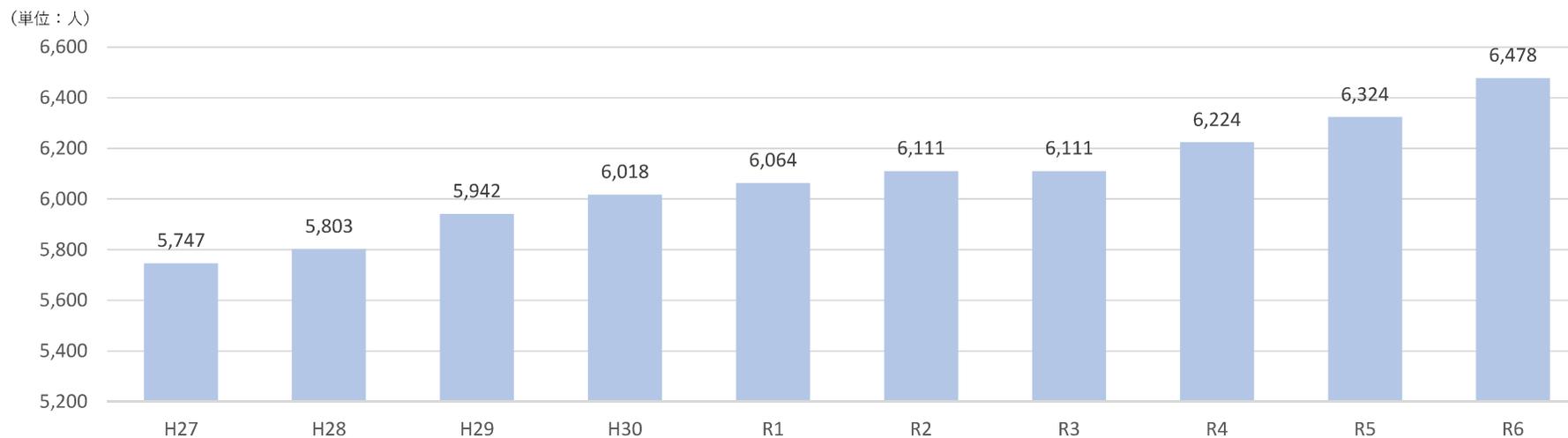


## 5 基礎データ

### (12) 川崎市立小学校 教員採用試験の採用倍率・辞退率の推移



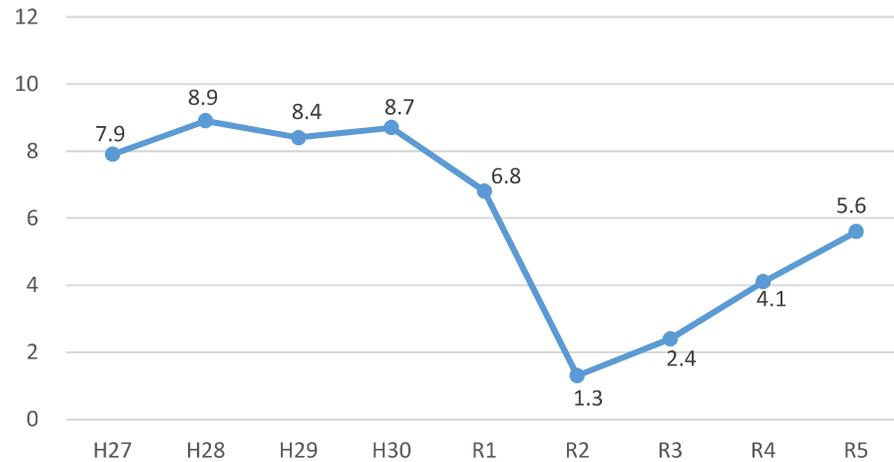
### (13) 川崎市立学校教員の定数の推移



## 5 基礎データ

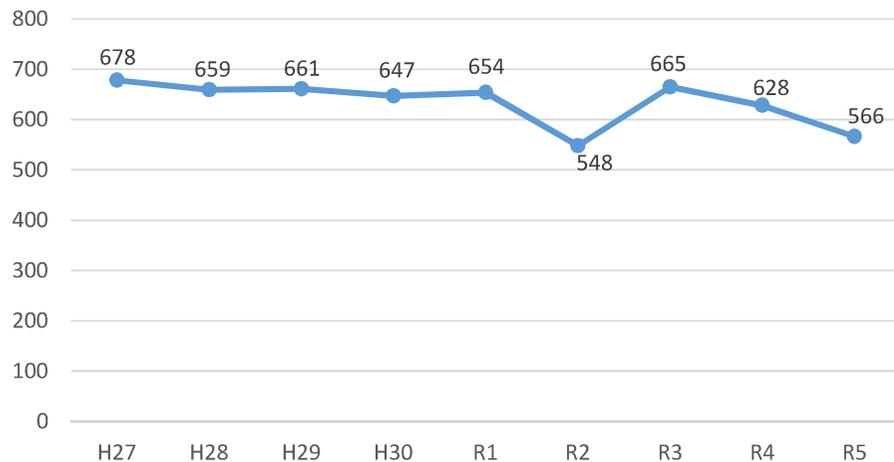
### (14) 市民館等の社会教育振興事業参加者数の推移

(単位：万人)

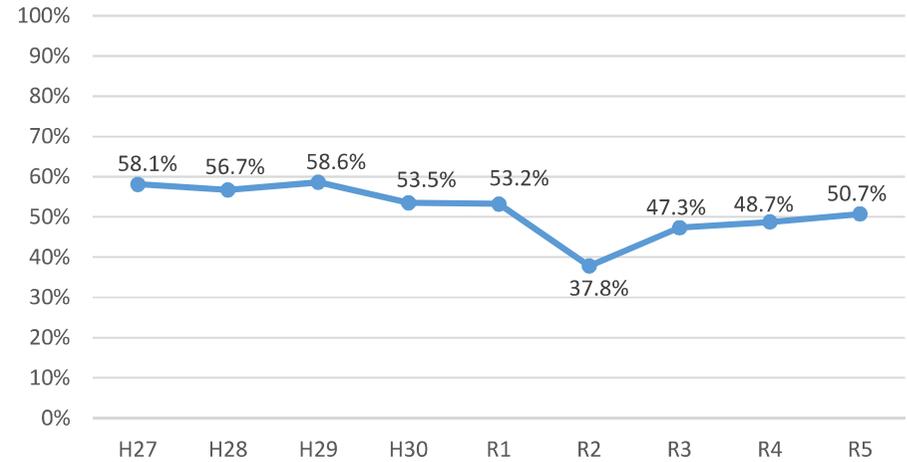


### (16) 図書館における個人への貸出冊数の推移

(単位：万冊)

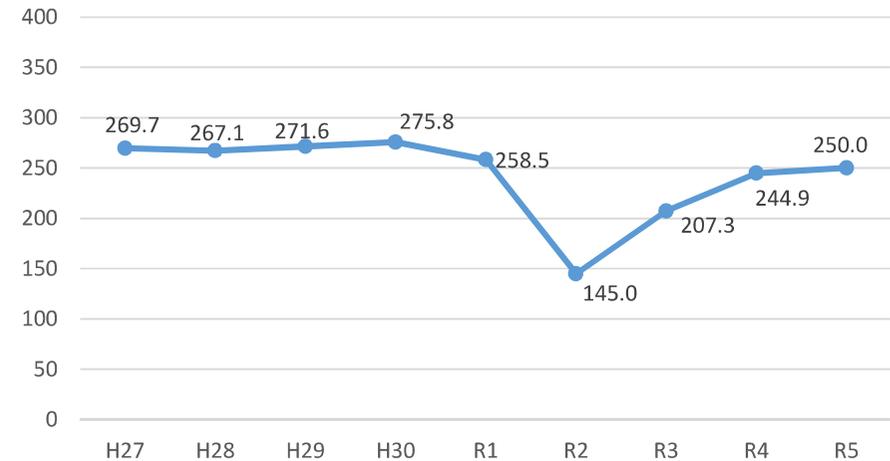


### (15) 教育文化会館・市民館・分館施設利用率の推移



### (17) 学校施設開放の利用者数の推移

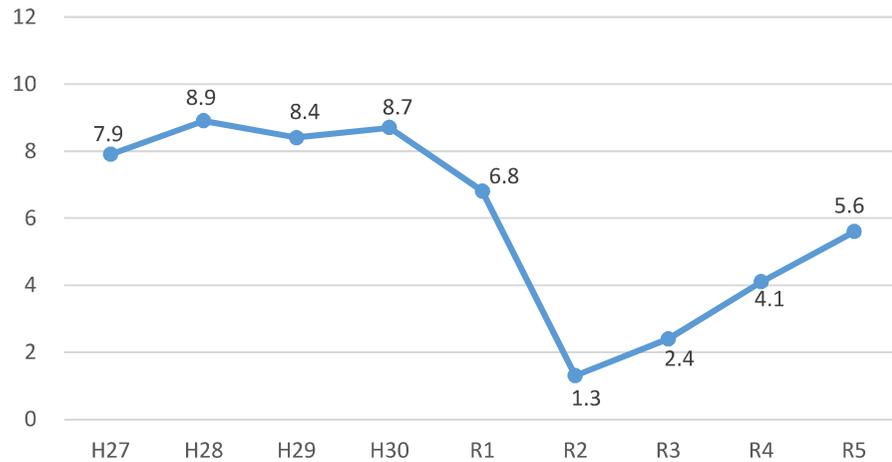
(単位：万人)



## 5 基礎データ

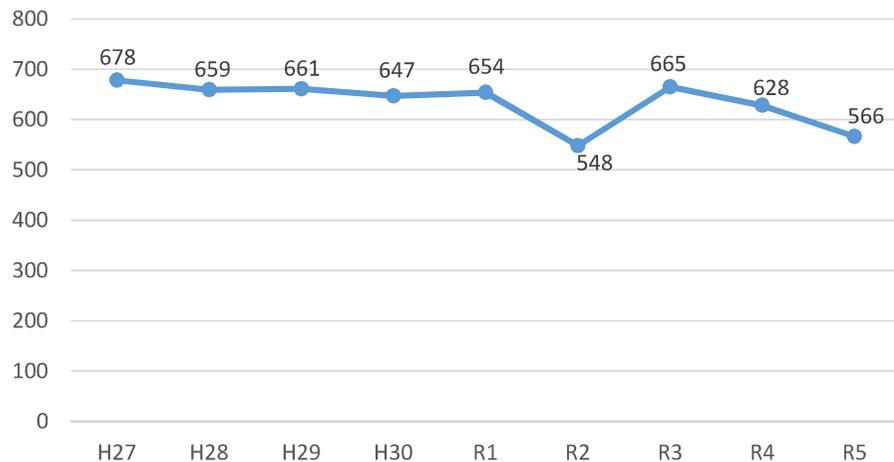
(14) 市民館等の社会教育振興事業参加者数の推移

(単位：万人)

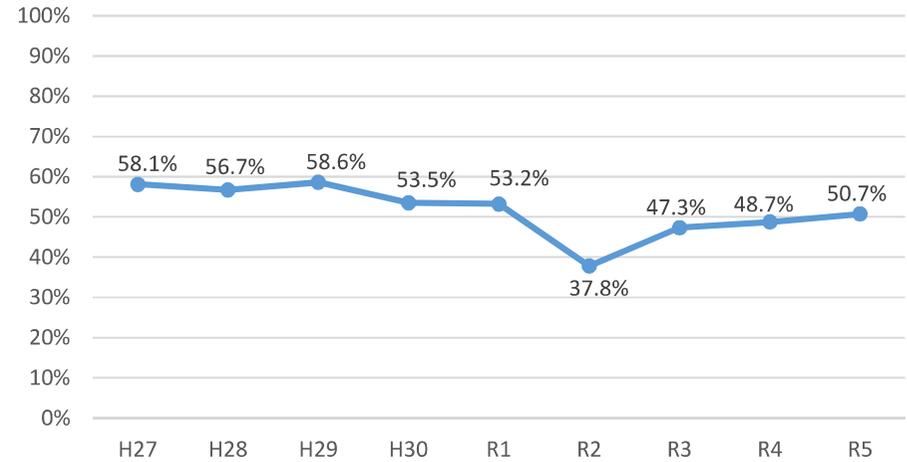


(16) 図書館における個人への貸出冊数の推移

(単位：万冊)

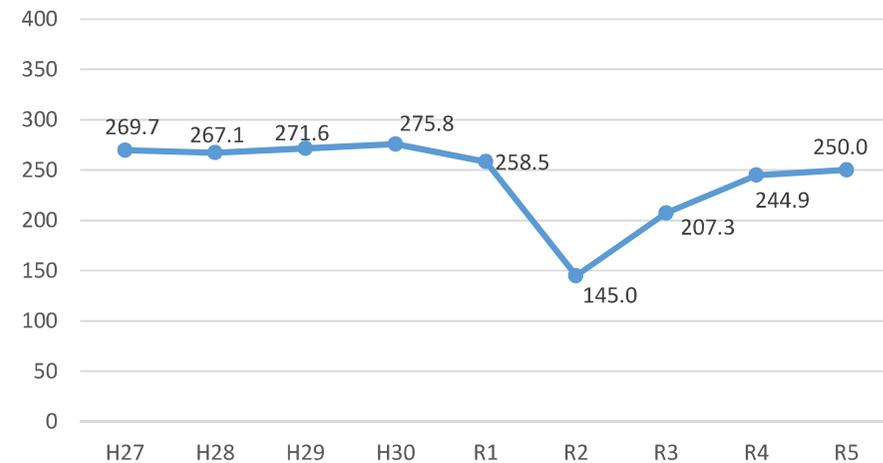


(15) 教育文化会館・市民館・分館施設利用率の推移



(17) 学校施設開放の利用者数の推移

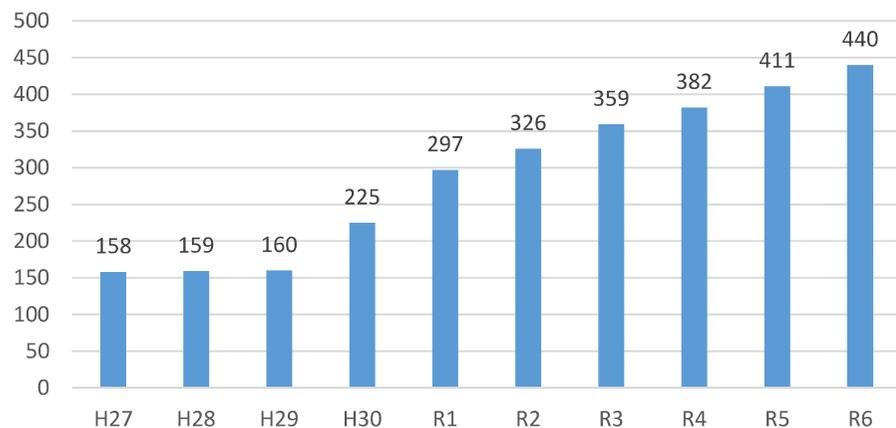
(単位：万人)



## 5 基礎データ

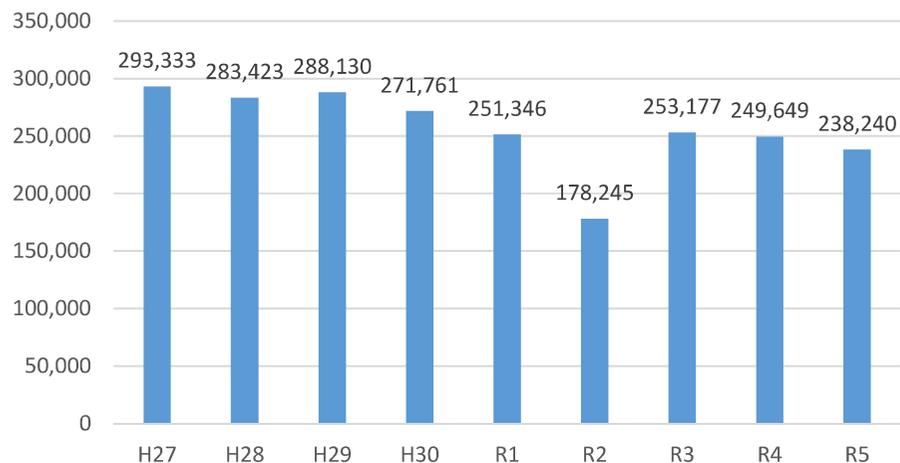
(18) 市内の指定・登録等の文化財及び「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づく地域文化財の件数

(単位：件)



(20) かわさき宙と緑の科学館の入園者数の推移

(単位：人)



(19) 日本民家園の入園者数の推移

(単位：人)

